

平成30年度 授業シラバスの詳細内容

| | | | |
|---------------|--|-------------|---------|
| 科目名(英) | ランドスケープ (Landscape) | 授業コード | L041001 |
| 担当教員名 | 菅 雅幸 | 科目ナンバリングコード | L30410 |
| 配当学年 | 3 | 開講期 | 前期 |
| 必修・選択区分 | コース選択必修 環境・地域コース 環境地域(まち)コース 環境地域(社会)コース 選択 建築コース インテリアデザインコース 建築設計コース 建築工学コース 住居・インテリアコース | 単位数 | 2 |
| 履修上の注意または履修条件 | 集中講義の為、土日に課外授業を行います。課外授業は11月中です。発表用の写真を撮りますので、出来ればカメラを用意してください。 | | |
| 受講心得 | 教科書、視聴覚資料の内容を中心に講義を行いますので、必ず出席するように心掛けてください。 | | |
| 教科書 | 特にありません。 | | |
| 参考文献及び指定図書 | テキスト ランドスケープデザインの歴史 武田史朗、他2名 著編、学芸出版社 風景のとりえ方・つくり方 九州実習編 小林一郎 監修 風景デザイン研究会 著 共立出版 ランドスケープのしごと 日本造園学会 監修 ランドスケープのしごと刊行委員会 編 彰国社 | | |
| 関連科目 | 都市計画 | | |

| | |
|-------|--|
| 授業の目的 | ランドスケープづくりやその管理に、どのような人々が、どのような考えで、そしてどのような技術を持って関与しているのかについて紹介することを大きな目的としています。 |
| 授業の概要 | 風景のとりえ方・つくり方を基にして、景観工学に関する用語の紹介と風景の読み解き方を説明します。次にランドスケープのしごとを基に、造園の立場から、土地の自然や人々の営みが生み出した土地固有の風景というとりえ方について学んでもらいます。 |

| ○授業計画 | |
|---|--------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1回： 風景のとりえ方1 風景について、景観把握モデル、視覚と景観、モノのカタチについて解説します。 | 配付資料 演習課題 |
| 第2回： 風景のとりえ方2 空間のスケール、風景の使い心地、体験する風景、風景のイメージについて解説します。 | 配付資料 演習課題 |
| 第3回： 確認テスト 第1回、第2回の講義の内容について確認テストおよび解説を行います。 | 配付資料 演習課題 |
| 第4回： 実地研修のための準備・説明 次回より行う実地研修についての説明を行います。第1回、第2回の講義の内容をふまえ、実際に学外の景観事例を見学します。各対象地のロケーションについて解説を行うとともに、記録の技術や手法について説明します。その後、主に特異点探索調査の準備を実施します。また、各自で対象地の情報をどのように収集するかについて、指導を行います。 | 配付資料 演習課題 |
| 第5回～第9回：第1回目課外授業 | |

| | | |
|---|----------------|-----------------|
| 学外にて実地研修を行います。実際の風景を体験し、特異点探索調査を実施します。 対象地は、臼杵の城下町(山あて)、庭園、大分市のランドスケープ | | 配付資料 演習課題 |
| 第10回～第14回:第2回目課外授業 前回到引き続き、実地研修を行います。 対象地は、別府市のランドスケープ、湯布院町のランドスケープ | | 配付資料 演習課題 |
| 第15回:発表準備 2回の課外授業で撮影した風景と、資料収集したものを基に、パワーポイントにてプレゼンテーションを作成してもらいます。 | | 配付資料 課題作成 |
| 第16回:発表 全体で発表を行います。発表結果を評価とディスカッションを行います。 | | 課題作成・提出 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 授業の運営方法 | (1)授業の形式 | 「講義形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | |
| | (3)アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| 備考 | | |

| | |
|----------------------|---|
| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
| 【関心・意欲・態度】 | |
| 【知識・理解】 | 関連する職業技術について随時解説するので、参考にして欲しい |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | いくつかのテーマについて、イメージスケッチを作成、プレゼンを行う |
| 【思考・判断・創造】 | この講義はランドスケープ空テクトであるオルムステッドが都市空間に込めた思い、「参加」、「芸術」、「環境」を原点としている。 |

| | | | | |
|-----------------------------------|-----------------|---------------|--------------|------|
| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等(テスト) | レポート・作品等(提出物) | 発表・その他(無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | | 40点 | |

| | | | |
|--|------------|------------|------------|
| 【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。 | 20点 | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | 20点 | |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | | | 20点 |
| (「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。 | | | |

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等 (提出物) | 見学会に参加して、作品を提出する事 |
| 発表・その他 (無形成果) | 必ず出席し、各自作品のプレゼンを行ってもらう。 |